

## 平成25年度 岸和田市障害者自立支援協議会PRイベントの アンケートについて（まとめ）

当日参加者：62名

アンケート提出者：38名（回収率：61.3%）

- ・日時：平成25年12月6日（金）13：30～16：00
- ・場所：岸和田市立福祉総合センター 1階 大会議室  
（岸和田市野田町1丁目5番5号 / 南海本線岸和田駅徒歩約5分）
- ・テーマ：「だれもが安心して暮らせるまちに ～防災から考える障害者の地域生活～」
- ・内容：
  - 第1部 講演  
「防災から考える障害者の地域生活」  
講師：八幡 隆司 氏（特定非営利活動法人 ゆめ風基金 理事）
  - 第2部 パネルディスカッション  
「当事者・支援者を交えて障害者の暮らしと防災について考える」  
パネラー：雨田 信幸 氏（きょうされん大阪支部 事務局長）  
パネラー：稲垣 俊雄 氏（稲垣診療所 所長）  
パネラー：東谷 太 氏（自立生活センター・いこらー）  
パネラー：岩崎 稔 氏（岸和田市危機管理部危機管理課危機管理担当長）  
コーディネーター：大谷 悟 氏（大阪体育大学健康福祉学部 教授）  
（岸和田市障害者自立支援協議会 会長）

1. あなたの性別を教えてください。

性別	人数	%
男性	21名	55.3%
女性	16名	42.1%
未記入	1名	2.6%
計	38名	100.0%

2. あなたの年齢を教えてください。

年齢	人数	%
20歳未満	0名	0.0%
20～39歳	8名	21.1%
40～59歳	7名	18.4%
60歳以上	22名	57.9%
未記入	1名	2.6%
計	38名	100.0%

3. あなた様のお立場（ご所属）等を教えてください。

所属	人数	%
町会関係者	11名	28.9%
民生委員児童委員	13名	34.2%
通所事業所関係	5名	13.2%
入所施設関係	1名	2.6%
(特定) 相談支援事業所関係	2名	5.3%
その他(※1)	6名	15.8%
未記入	0名	0.0%
計	38名	100.0%

(※1) その他の内訳として、【未記入：3名、就業・生活支援センター1名、大学職員1名、当事者家族1名】

(備考) 居宅介護事業所関係、グループ(ケア)ホーム関係、医療機関学校関係、幼稚園・保育所関係および行政関係については「0名」でした。

#### 4. 第一部 講演会「防災から考える障害者の地域生活」について教えてください。

評価	人数	%	理由および感想を記入した人数
満足	18名	47.4%	11名
どちらかといえば満足	19名	50.0%	9名
どちらかといえば不満	1名	2.6%	1名
不満	0名	0.0%	0名
参加していない	0名	0.0%	0名
未記入	0名	0.0%	0名
計	38名	100.0%	21名

##### 【評価：満足】

- ・ボランティアが力をうばってしまうとの言葉が重かったです  
(通所事業所関係, 20~39歳, 男)
- ・福祉避難所について実際のあり方(考え方)など聞くことができてよかった。  
(その他, 40~59歳, 男)
- ・どれだけリアルに実際の災害を想定しておくのかが大切とよくわかりました。  
(通所事業所関係, 20~39歳, 男)
- ・避難所開設訓練の必要性を聞いた。地域コミュニティづくりこそ最大の防災である。  
(町会関係者, 60歳以上, 男)
- ・福祉避難所の指定や地域に居るメンバーの名前を掌握しておくべきだと思う。又高齢者、独居高齢者の避難を手伝う人も明確に手をあげておくべきだと思う。学校施設も最大に使うべきだと思う。災害がない年から施設の使い方を話合っておくべきだ。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・守秘義務、プライバシーの侵害等で思う様にコミュニティづくりができない。まわりの人の意識が必要以上にこの事に対して過敏に反応。八幡さんの話し賛成。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・今、みんなが防災訓練、避難訓練ばかり言っているが、今日の話の中で避難所開設訓練が必要と先生がおっしゃった。本当にそう思う。その為にどういう事柄があるか又誰がその役割等・・・。  
(町会関係者, 60歳以上, 男)
- ・防災訓練をすることにより地域のコミュニティが活性化出来る。その為に何をするのか、大事

なのか？

(町会関係者, 60 歳以上, 男)

- ・東日本大震災での避難の実態を知ることができ岸和田での避難について考えなければならないと実感した。

((特定) 相談支援事業所関係, 20~39 歳, 女)

- ・災害がおきた時にどう逃げるかという事しか考えていなかった。避難した後の事も考えていかなければいけないという事でそれをもちかえり職員、当事者の方達と話合おうと思いました。

(通所事業所関係, 20~39 歳, 女)

- ・入所施設においても地域の方との密な連携を図り災害時にどう対応すべきか準備すべき物等を考え学びました。

(入所施設関係, 20~39 歳, 男)

#### 【評価：どちらかといえば満足】

- ・日頃から市内の各事業所や施設と連携を取りそれぞれの持つ強み、特性を活かした役割分担を把握しておく必要性を感じました。+避難者の自主性の尊重

((特定) 相談支援事業所関係, 20~39 歳, 女)

- ・避難所開設訓練の話はなるほどと思いました。主体的に各自の力を生かすこと大切だと思いました。

(通所事業所関係, 40~59 歳, 女)

- ・避難所におけるボランティアの役割について参考になりました。ノーマライゼーションの件もたいへん勉強になりました。

(その他, 40~59 歳, 男)

- ・相手の立場になって考える事に気付きました。

(町会関係者, 60 歳以上, 男)

- ・役所にまかしてもだめ。各自が自分の命は自分で守る事。東北で云われている(テンデング)が防災時には必要。

(民生委員児童委員, 60 歳以上, 男)

- ・自分の命は自分で守る。行政に頼るばかりではいけない。

(民生委員児童委員, 60 歳以上, 女)

- ・内容は非常に良かったと思いますがもう少しゆっくり話して欲しかったと思います  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 男)
- ・”自分の命は自分で守る”という言葉に賛成。行政にたよるばかりでなく、地域で考える、共に考えるに拍手。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・体験談発表 体験者のみぞ知る避難所のあり方 ありがとうございます。  
(町会関係者, 60歳以上, 男)

**【評価：どちらかといえば不満】**

- ・〇〇が大切、〇〇しなければ、〇〇が不足・・・という話が多かったがどういう立場の人が（誰が）どうしなければならないかなどケースにより具体的な話が欲しい。被災地の実情は参考になった。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 男)

5. 第二部 パネルディスカッション「当事者・支援者を交えて障害者の暮らしと防災について考える」について教えてください。

評価	人数	%	理由および感想を 記入した人数
満足	13名	34.2%	9名
どちらかといえば満足	14名	36.8%	3名
どちらかといえば不満	0名	0.0%	0名
不満	0名	0.0%	0名
参加していない	0名	0.0%	0名
未記入	11名	29.0%	1名
計	38名	100.0%	13名

【評価：満足】

- ・災害時の対応を考えておく必要性を感じました  
(通所事業所関係, 20~39歳, 男)
- ・それぞれの立場からの話はよかった。  
(その他, 40~59歳, 男)
- ・知的、身体、精神のそれぞれの立場や実情の話がよかった  
(通所事業所関係, 20~39歳, 男)
- ・専門家、当事者それぞれの立場から具体的なお話を聞いたことが良かったです。  
(その他, 40~59歳, 男)
- ・具体的に説明をして下さったのでわかりやすかったです。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・要支援者名簿の活用法を考えていきたい。  
(町会関係者, 60歳以上, 男)
- ・岸和田で震災がおきた時自分は誰の支援を考えなければならないかどう動くべきなのか考えなければいけないと思った。  
(特定) 相談支援事業所関係, 20~39歳, 女)
- ・それぞれのお立場から経験された事を聞いてよかった。  
(通所事業所関係, 20~39歳, 女)

- ・一つ一つテーマが細かく聞きやすかったです。  
(入所施設関係, 20~39歳, 男)

**【評価：どちらかといえば満足】**

- ・各々の貴重な体験をした話と行政がどこまでのことを考えているのかその到達も確認できた。  
(通所事業所関係, 40~59歳, 女)
- ・色んな視点、立場からの防災の話が聞けた。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・貴重な報告ありがとうございます  
(町会関係者, 60歳以上, 男)

**【評価：未記入】**

- ・要援護者名簿に代わるものとして地域生活 C や包括 C での日頃の利用者様とのコミュニケーション、ケース file 等が役立つと思いました。薬等については他県と協力連携を築いていく必要性を感じました。  
(（特定）相談支援事業所関係, 20~39歳, 女)

## 6. 岸和田市障害者自立支援協議会について、以前からご存知でしたか。

はい	27名	71.1%
いいえ	10名	26.3%
未記入	1名	2.6%
計	38名	100.0%

7. 本日の講演会およびパネルディスカッションについて、気になった点やご質問等がございましたら、ご自由にご記入ください。

### 【11名記入】

#### 【自立支援協議会を知っている：8名】

- ・要援護者名簿も大切であるが災害により名簿に載っていない隠れた要援護者リストの作成にも気を配らないといけないと思いました。デジタルは便利ですが災害により機能が狂って怖いと思いました。  
(（特定）相談支援事業所関係，20～39歳，女)
- ・福祉避難所についての課題、名簿の活用についての課題を示されたことよかったですと思いました。  
(通所事業所関係，40～59歳，女)
- ・色々勉強になりました。ありがとうございました。防災、事前の準備も大切ですね。これからも色々な機関の方と連携を深めておきたいと思います。また、センター内の備蓄もチェックしたいと思います。  
(その他，20～39歳，女)
- ・ゆめ風基金のボランティアの方の生の声が聞け、頑張っておられる方が身近に居る事を知りとてもうれしかった。心強かったです。ありがとうございました。  
(民生委員児童委員，60歳以上，女)
- ・出席者の数が若干少ないように思われます。他のイベントよりPRが少ないような感じが有ります。  
(町会関係者，60歳以上，男)
- ・大谷先生のまとめがよかったです。頭の整理ができました。  
(民生委員児童委員，60歳以上，男)
- ・「要援護者一人ひとりに対する支援計画作り」しっかりやっていただきたい。10年ぶりの見直しということで、町内で3人の申請をすすめ、登録しました。しかし、はてさて災害時自分は

何ができるか。町会ともしっかり議論してと考えてますが、市当局もがんばって互いに協力、協働でやっていければと考えています。

(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)

- ・今後よろしくご指導のほどを 地域でがんばります。

(町会関係者, 60歳以上, 男)

### 【自立支援協議会を知らない：3名】

- ・市民、地域、団体と行政の協力関係にとって双方で透明性を確保し、ていねいな情報の交換、共有をすることが大切だと感じました。諸々の事情を理由に協議や決定、行動が先のぼしになったりすることはできるかぎりさけることも大切だと思います。

(その他, 40～59歳, 男)

- ・時間が足りなかったです。パネラーの方、市民の皆さんとのディスカッションをまだまだ聞きたかったです。

(その他, 40～59歳, 女)

- ・住民参加の必要

(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)

## 8. その他、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

### 【12名記入】

#### 【自立支援協議会を知っている：9名】

- ・地域住民、障害当事者、各施設、市等岸和田市に住む多くの方々の防災圏域づくりや防災意識づくりへの参加が必要だと思いました。主体的な参加を促していく事に声掛けをしていきたいと思いました。  
(（特定）相談支援事業所関係，20～39歳，女)
- ・災害時に地域に障害者支援センター（今日の自立支援協議会が中心になっていけばいいのではないかと・・・）を設置して行政と連携して必要な支援を受けられるようにするしくみをどう作っていくのが大切と思った。個人情報関係で福岡県飯塚市では名簿を個人情報保護条例審議会で確認して毎年更新するため行政、民生委員さんなど一体で訪問把握の活動をされている。  
(その他，40～59歳，男)
- ・行政はあてにならないという話もありましたが当事者や関係者が災害時に努力できる環境づくりという備えは行政抜きにはできないと思うので当事者、関係者と行政で協力しましょう。  
(通所事業所関係，20～39歳，男)
- ・今後自主防災を進めて行くなかで地域としてお金もかかる。行政として地域自治会への助成金も検討してほしい。  
(町会関係者，60歳以上，男)
- ・避難所でのリーダーを作る。中学生の力（ボランティア）を出して頂く為にも介護（身体）の方法を学べる場所と時間を中学校でお願いしたい。学校の中での避難訓練時に体験枠を作り自信を持って頂く。  
(民生委員児童委員，60歳以上，女)
- ・時間をさいて出席しているので受付で団体名氏名等を確認して今後の案内とか運営に役立ててほしい。  
(町会関係者，60歳以上，男)
- ・いつも講演会等を聞いて思う事ですが…。自助、共助、公助と言われております。基本となるのはひとりひとりのかかわりが大事だと感じます。障害のあるなし、高齢かどうか・・・子ども大人の人とのきずなが大切という事が必要  
(民生委員児童委員，40～59歳，女)

- ・自分の命は自分で守ると云う言葉が興味深く残りました。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・健常者でも大変な震災をたくさんの支援を必要とする障害者が受けた時に避難はもちろん避難生活をどうするか考えなければならぬと思った。  
(特定)相談支援事業所関係, 20~39歳, 女)

**【自立支援協議会を知らない: 3名】**

- ・初めて町内の防災訓練を11月にしました。思ったより大勢が参加してくれて、いかに意識が高くなっているのかがわかりました。今日の協議会に参加して障害を持っておられる方、独居老人、高齢者の方等の介助をどうしていくのかを話したり、避難施設の役割を本音で話しをしていくきっかけを作らせてもらい大変に勉強になりました。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・東谷さん当事者の話が参考になりました。健常者にはあたりまえでもどんな事が困難するのか……。よくわかってよかったです。自分の身のまわりをもう1度見なおしてみる。  
(民生委員児童委員, 60歳以上, 女)
- ・障害者、当事者の声もあれば  
(町会関係者, 60歳以上, 女)